

### 渋川・三愛荘の地域ホーム

渋川市明保野の社会福祉法人「三愛荘」内には地域ホームが五棟、グループホームが一棟あり、四十一、六十代の知的障害者計二十四人が共同生活を送る。

### 地域生活へ道すじを

各棟に援助者が配置され、食事などの生活を支援。入所者は障害の程度にあわせ、民間企業でパート勤務

をしたり、施設内の清掃や運搬作業に携わる。もともと施設に入っていた人が中心で、外出の自由や仕事などで得たお金を自分で使える喜びを感じる人も多い。ある入所者は「お金をため、キーボードを買った」とうれしそうに話す。

地域ホームやグループホ



三愛荘内にある地域ホームの居間で談笑する入所者ら

ームは施設を離れ、地域の中で暮らしていくことが目的だ。援助者の一人、小菅澄子さんは「身の回りのこ

とを自分でできれば、施設を卒業し地域で生活する流れにある」と話す。そのためにも職種は拡大と、ホームを文字とおり「地域」に設置する資金づくりのため、善意への期待は大きい。

# 各地から届く感謝と期待

富岡市後置の知的障害者授産施設「セルプ水土舎」(金谷透施設長)は、施設がオープンした二〇〇〇年から養鶏を行っている。現在二つあるうち二つに完成した新しい鶏舎が、配分を受けて建てられた。養鶏はハム・ソーセージの製造と並んで、同施設の

### 新鶏舎建て生産性向上

活動の核。鶏千三百羽の世話には二十人が携わる。一日三回の採卵や餌・水やり、鶏舎の掃除、卵の出荷と訪問販売などに連日汗を流す。新しい鶏舎建設によって、飼育する鶏の数は大きく伸び「生産性が向上し、コストも下げられる」と金



鶏舎で作業する通所者たち。施設の活動の核になっている

### 富岡・セルプ水土舎

谷施設長。川の水をポンプアップする給水設備をつくったり、雨水が流れやすくする工夫もできた。最近、キム子のたれで煮

て漬けた「キムチ卵」も売り出した。金谷施設長は「浄財は有効に使わせていただき、通所者にいろんな仕事をさせることができている。ぜひ様子を見に来てほしい」と話す。

### 新里・つつじヶ丘

新里村武井の知的障害者グループホーム「つつじヶ丘ホーム」は浄財の配分を受け、三十九、五十二歳の男性四人が共同生活を送る住宅の一、二階に希望のテラスを設置した。

世話人の小倉サチ子さん(五〇)がほぼ毎日、朝夕の食事の手伝いや生活の相談に応じている。テラスは四人



が生活す  
けられ、  
干し場と  
1、  
テニ

からは遠  
景も見渡  
気に開放